

平成29年度 北保健センター運営協議会 摘録

日 時：平成29年10月12日（木）午後2時～3時

場 所：北区役所西庁舎2階 講堂

出 席：委員12名（欠席6名，うち委任状提出4名），
事務局（川妻保健福祉センター長，藤田子どもはぐくみ室長，有本
北区担当医師，中山健康長寿推進課長，牧野健康長寿推進課担当課
長，東障害保健福祉課長，河合子どもはぐくみ課長，医療衛生セン
ター 井上担当課長，市川担当課長，中西担当課長）

（司会） 中山健康長寿推進課長

- 1 松本北区長，谷口京都市保健所長 挨拶
委員自己紹介

事務局より本会の出席人数について報告
出席が過半数を超え，協議会の成立を確認

事務局職員紹介

- 2 議題・報告（議長 田村部会長）

- （1）平成28年度事業実績報告について

（説明 中山健康長寿推進課長，牧野健康長寿推進課担当課長，
東障害保健福祉課長，河合子どもはぐくみ課長）

（質疑応答）

なし

- （2）平成29年度の地域における健康づくり事業について

（説明 中山健康長寿推進課長，牧野健康長寿推進課担当課長，
東障害保健福祉課長，河合子どもはぐくみ課長）

（質疑応答）

なし

- （3）意見交換

・委員

様々な新しい事業について，衛生管理の面で，例えばノロウイルス等の
病気の発生といった問題への対策はできているのか。一般的に，乳幼児は

病気に対する抵抗力が弱いとされている。その乳幼児を受け入れる幼稚園や保育園では、様々な感染症の問題の発生が予想されるが、感染症予防対策はどのようにしているのか。

(回答 医療衛生センター 井上担当課長)

医療衛生センターで、全市で一括して、一事例ごとの対応をしている。地域の平常時の感染症等については、今後、北医療衛生コーナーの職員が中心となって、子どもはぐくみ室や障害保健福祉課、健康長寿推進課の担当の方と連携をしながら感染症予防の普及啓発に努めていきたいと考えている。

・委員

特に、これまで3歳児以上の子どもが対象であった幼稚園で、法改正に伴い、新たに乳幼児(0歳～2歳児)を受け入れていくことに対して、食品衛生の面などの研修等を行い、職員が研鑽を積む必要があるのではないかと。

子どもの給食サービスについても、実際に給食を提供するに当たって、食品衛生面での問題は起こらないのか。

(回答 医療衛生センター 中西担当課長)

子ども食堂の件については、今年度からの事業である。京都府のほうでは許可制になっているが、京都市については許可制になっている業者もあれば、そうでないところもある。取扱いについては、医療衛生センターは直接関わってはいないが、許認可に当たって、衛生面の指導や子ども食堂に関する注意事項を事業所にお渡しする取組はしている。また、ノロウイルスについては、出前出張や講習会を行っている。地域から御要望があれば、お話に行かせていただくことができる。

(回答 子どもはぐくみ室 藤田室長)

保育園の関係は児童福祉施設であるため、保健福祉センターの栄養士と定例的に会議を持ち、食品衛生等の情報提供を行っていた。幼稚園についてはこれまで教育委員会の所管であったため、そういった取組はなかったと思うが、今後は相談しながら、御意見をいただきながら進めていきたいと思う。各幼稚園や保育園にお配りしている健康づくりハンドブックも活用していただければと思う。

3 川妻保健福祉センター長 閉会挨拶

(以上)